

バス事業のDXの現状



2020年4月13日

株式会社みちのりホールディングス
Michinori Holdings, Inc.

ユーザビリティの向上

ICカード・キャッシュレス決済

バスロケーションシステム・
リアルタイム検索

交番組みの最適化

ダイナミックルーティング

自動運転

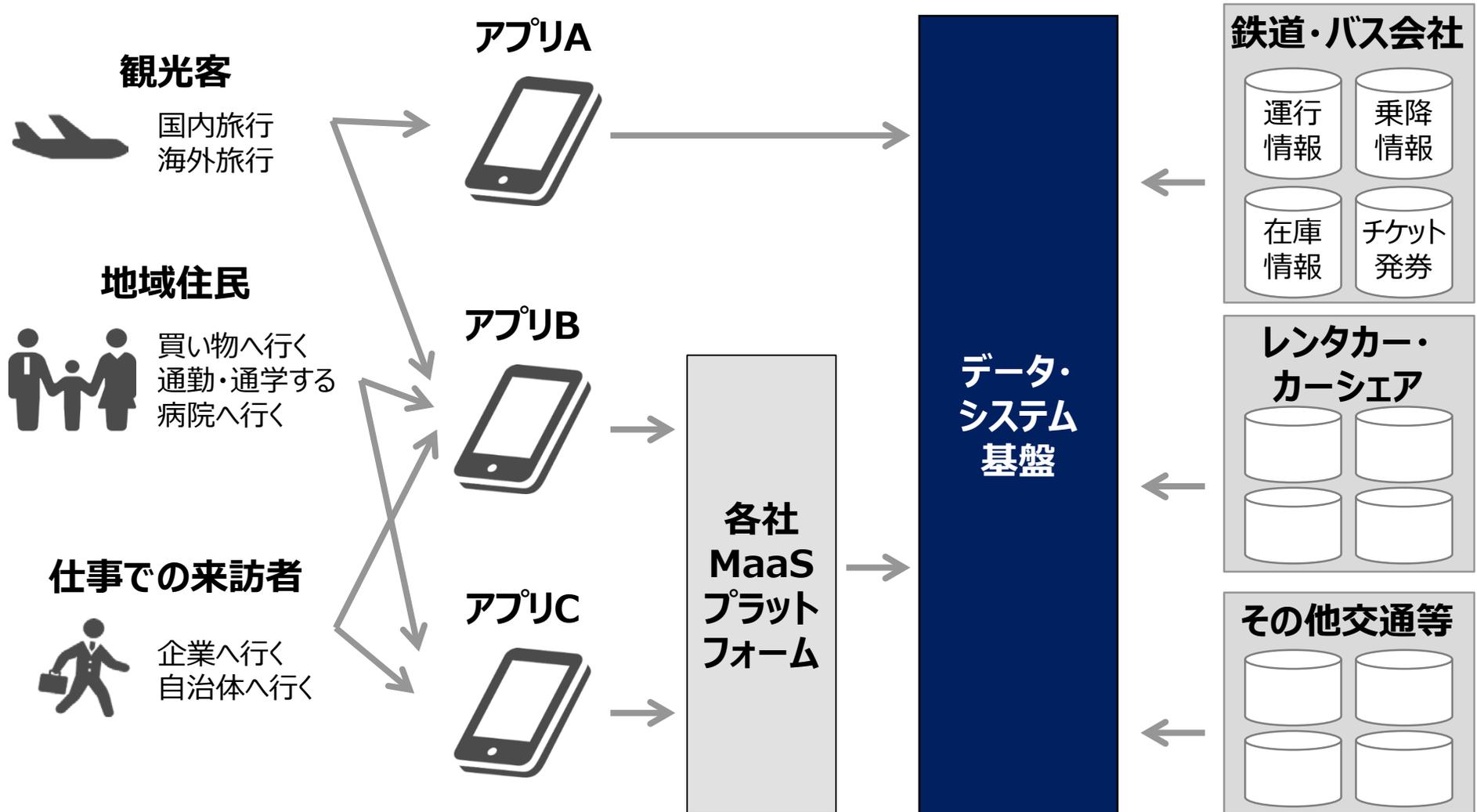
MaaS

社会課題解決

電気バス・
エネルギーマネジメントシステム

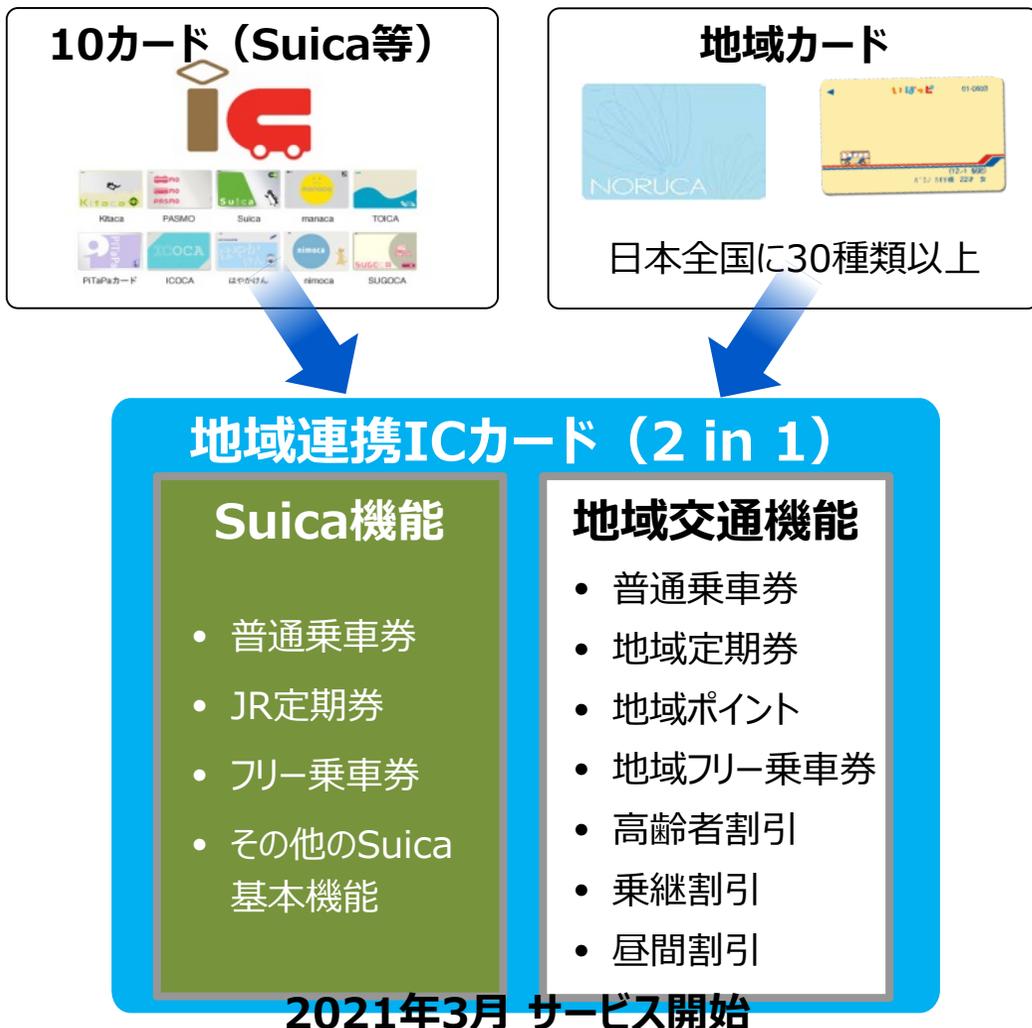
MaaSの要諦

◆ アプリ開発ではなく、複数事業者が利用できるオープンなデータ・システム基盤の構築が肝要



ICカード・キャッシュレス決済

- ◆ 新たに地域連携ICカードが2021年3月に栃木でサービス開始予定。
- ◆ スマホを活用したQRコード決済も淘汰が進みつつあり、国際標準の非接触クレジットカードも浸透中。



多様なキャッシュレス決済の台頭

■ QRコード決済

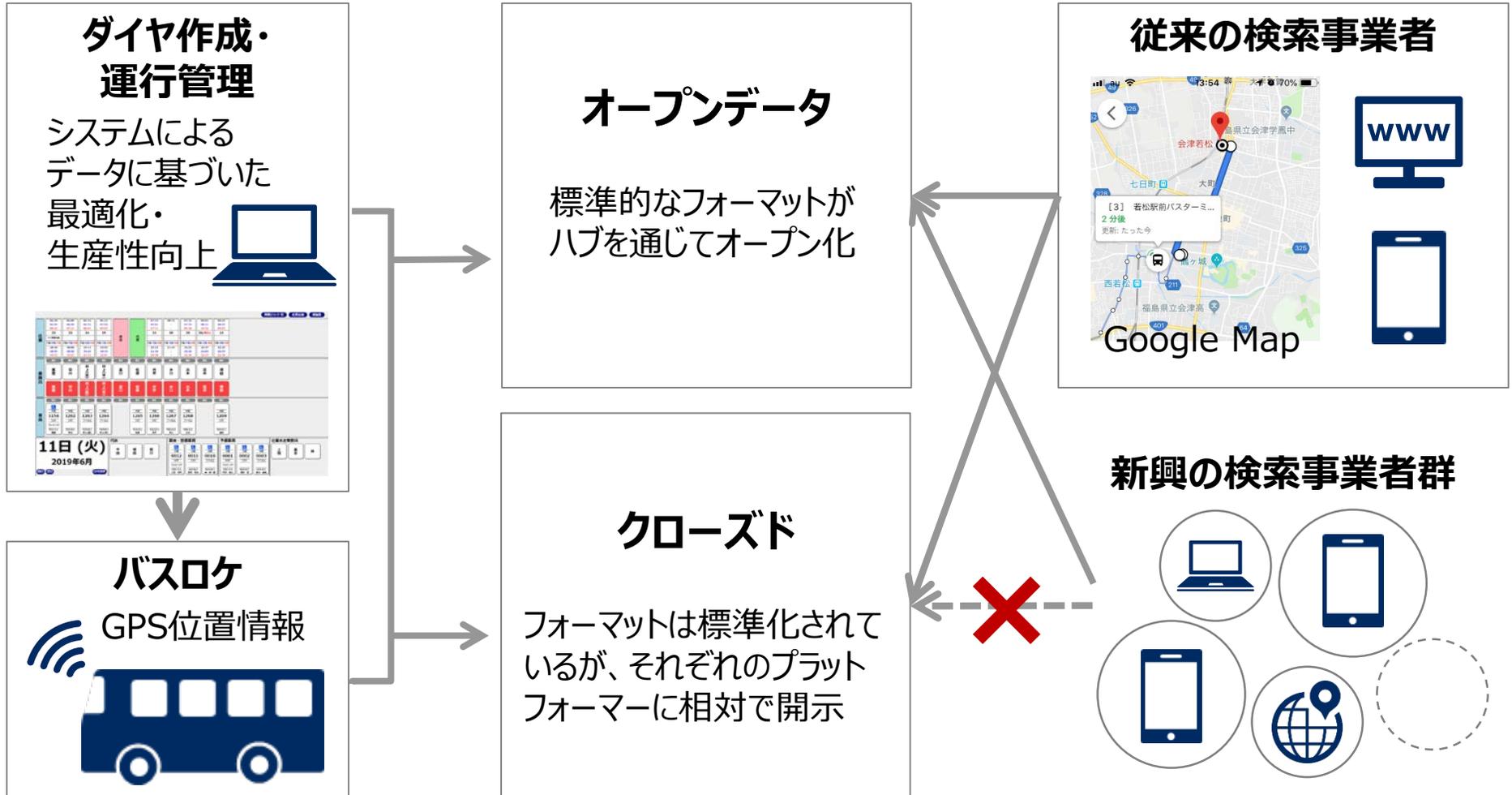


■ 非接触クレジットカード決済



バスロケ/リアルタイム検索

- ◆ 紙などアナログベースで実施していた業務領域においてもデジタル化が進展中。
- ◆ 位置情報等、バスの運行に関わる全てのデータをオープン化することで公共交通の利便性が飛躍的に向上。



ダイナミックルーティング 通勤バスのケース



メリット

- 渋滞緩和
- マイカー台数減
- 事業者の生産性向上

- 呼び出しに応じてルートが変わる
- 制限時間内でのルーティングの最適化
- 乗降点の増加

ダイナミックルーティング マルチユースのケース



課題

- 高齢者の利便性の確保
- 固定ダイヤからの移行

- より複雑な最適化
- 地域全体の交通ネットワークの効率化
 - ただし、朝夕は固定ダイヤ

バスの専用道を持つBRT



ひたちBRT

- バスと歩車（一般車）の分離
- 管理された走行環境
- 路側センサーとの協調
- 上下分離方式での整備実績

中山間地のラストワンマイル



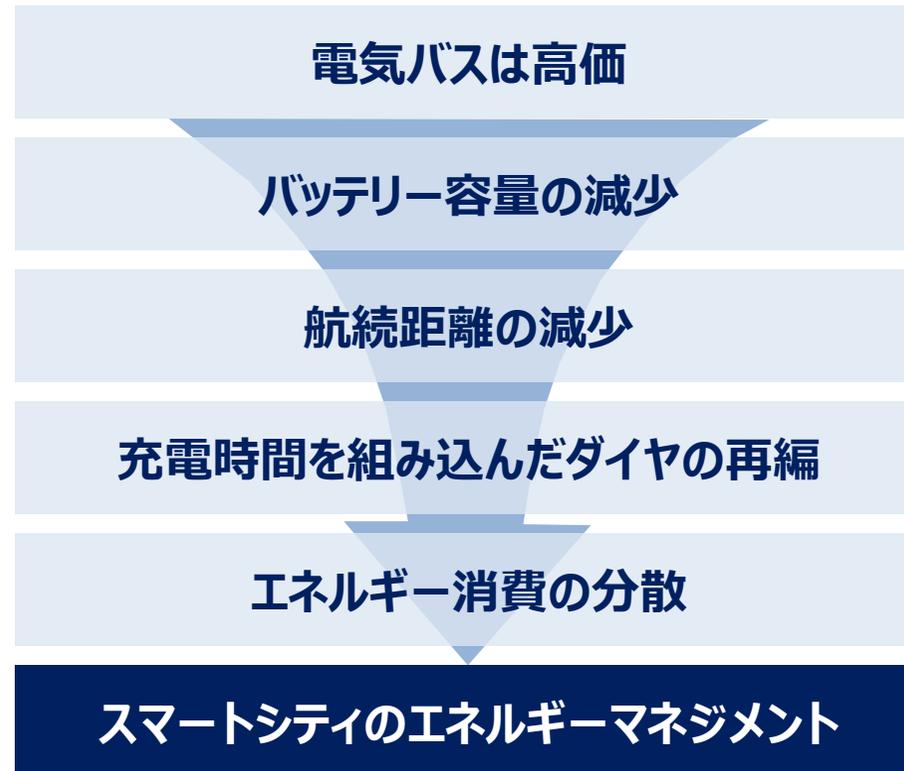
常陸太田市高倉エリア

- 商品としての品質・実績
- 決まったルートを走行
- 確立されたメンテナンス方法
- 安価な車両・システム

複雑な走行環境ではなく、シンプルかつ社会的ニーズの強い場所から商用実装

バスの電動化とエネルギーマネジメント

- ◆ 電気バスのエネルギーマネジメントを通じてスマートシティを実現



経営共創基盤

100%出資

みちのり
ホールディングス

12人

みちのりグループ

100%出資

岩手県北バス
グループ

- ・岩手県北自動車
- ・東日本交通
- ・みちのりトラベル東北
- ・浄土が丘パークホテル
- ・宮古エコカーシェアリング

福島交通
グループ

- ・福島交通
- ・福交整備
- ・福島交通観光
- ・フクコーアド
- ・福交保険サービス

会津バス
グループ

- ・会津乗合自動車
- ・会津トラベルサービス
- ・ATS保険サービス
- ・あいぶスタッフ

関東自動車
グループ

- ・関東自動車
- ・関東自動車整備
- ・関東ツアーサービス
- ・やしお観光バス
- ・那須交通

茨城交通
グループ

- ・茨城交通
- ・運行マネジメントサービス
- ・電鉄タクシー
- ・ひたちなか海浜鉄道 (49%出資)

湘南
モノレール

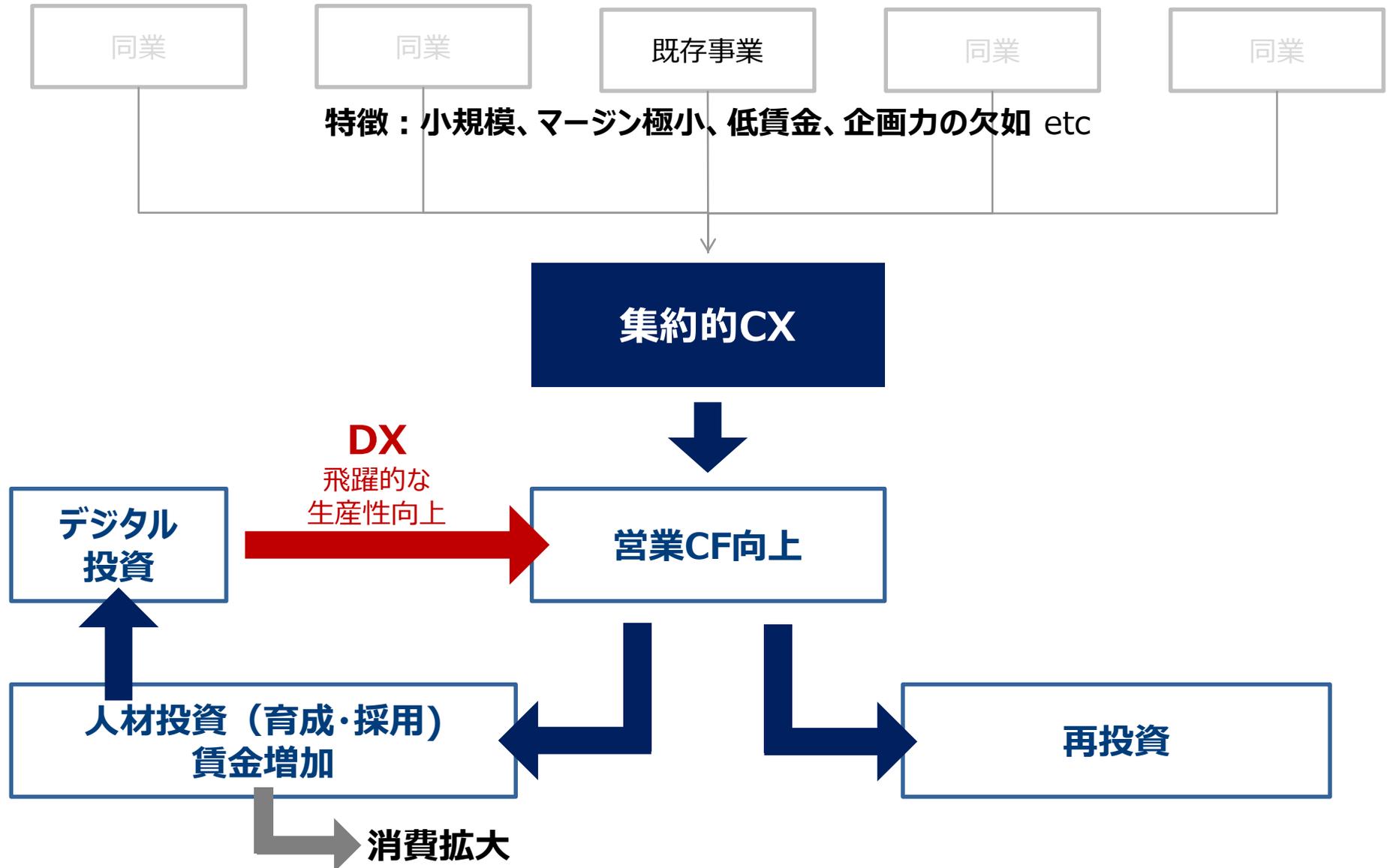
みちのり
トラベル
ジャパン

	岩手県北バスグループ	福島交通グループ	会津バスグループ	関東自動車グループ	茨城交通グループ	湘南モノレール	みちのりトラベルジャパン	計
従業員	866人	897人	464人	1,113人	1,414人	124人	5人	4,896人
車両 (バス)	413台	551台	196台	617台	640台			2,417台
車両 (その他)	1隻 (遊覧船) 16台 (カーシェア等)	6編成14両 (鉄道)	99台 (タクシー)		105台 (タクシー) 197台 (レンタカー)	7編成21両 (鉄道)		

※従業員数・車両台数は2019年3月31日時点

Discussion purpose only

DXを通じた地方創生



End of Document